



第62回特別企画展

# カラカミ遺跡の全貌展

開催のお知らせ

壱岐市立 一支国博物館

一支国博物館では、来たる令和4年11月25日(金)より令和5年1月9日(月祝)まで、第62回特別企画展「カラカミ遺跡の全貌展」を開催いたします。

「カラカミ遺跡」は、壱岐島の北西部、標高80メートル前後の小高い丘陵上に在った弥生時代の集落跡です。近年は、弥生時代における「鉄」の流通と生産を証明する鍛冶関連遺構や遺物など、歴史を塗り替える発見が続いています。

山中で“ものづくり”を営んだ謎の集落「カラカミ」に迫る企画展です。

つきましては、別紙のとおり概要をお知らせ致しますので、ご多忙の折とは存じますが、お誘いあわせの上ご来場いただきますよう、ご周知方よろしくお願ひ申し上げます。

事業／第62回特別企画展「カラカミ遺跡の全貌展」

会期／令和4年11月25日(金)～令和5年1月9日(月祝)

場所／一支国博物館 1階 テーマ展示室

時間／午前8時45分～午後5時30分

休館日／毎週月曜日、12月29日～31日

※1月2日・9日は開館

展示品数／400点以上

観覧料／無料

主催／壱岐市立一支国博物館

後援／壱岐市、壱岐市教育委員会、

長崎県埋蔵文化財センター、壱岐市観光連盟



## カラカミ遺跡

壱岐島の北西部(勝本町立石東触)に位置し、標高80メートル前後の小高い丘陵上につくられた弥生時代の集落跡です。

2011(平成23)年から2020(令和2)年にかけて、壱岐市教育委員会がカラカミ遺跡の集落実態解明調査を実施しました。2015(平成27)年には、国内最古となる地上式周堤付炉やイエネコの骨、2017(平成29)年には、国内最古となるベンガラ焼成炉や国内初出土の「周」文字線刻遼東系瓦質土器など遺跡の実態を解明する上で新たな発見が続いています。

また、地上式周堤付炉の周辺からは鉄素材、未完成の鉄製品、鉄製品生産に用いる鍛冶関連石製工具類が、ベンガラ焼成炉の周辺からは、丹塗り土器や焼成時破裂土器なども発見されており、積極的に“ものづくり”を行っていた集落の様相が調査によって新たに判明しました。

## 主な展示資料

- **日本最古** イエネコの骨
- **日本最古級・初** 「周」文字線刻遼東系瓦質土器
- 鍛冶関連道具 多数
- 鉄素材 多数
- 骨製品 [卜骨、アワビおこし、弓部材 など]
- 青銅製品 [青銅鏡、銅鏃 など]
- 丹塗り土器



鉄素材と鍛冶関連道具  
カラカミ遺跡 [弥生時代中～後期]

## 関連講座 【壱岐学講座】カラカミ遺跡の全貌

一支国の生産拠点として重要な役割を果たしていたカラカミ遺跡の実態を紹介します。

日時/令和4年12月4日(日) 14:00～

場所/一支国博物館 3階 多目的ホール

講師/松見裕二氏(壱岐市社会教育課文化財班 係長)

受講料/無料

定員/180名

お問い合わせ/一支国博物館 TEL:0920-45-2731

このリリースに関する  
お問い合わせ

配信停止などご要望がございましたら、お知らせ下さい。

壱岐市立一支国博物館  
担当: 広報 松嶋

〒811-5322  
長崎県壱岐市芦辺町深江鶴亀触 515 番地 1  
TEL: 0920-45-2731 FAX: 0920-45-2749  
m.matsushima@iki-haku.jp

感染症拡大防止の取り組みにご協力をお願いします。